



# トレイグジスタンス産業への挑戦

トレイグジスタンス研究委員会

## 1. はじめに

トレイグジスタンスは、多様な分野での産業応用が可能な汎用的なヒューマンエンパワーメント(人間能力拡張)システムとして社会に好循環をもたらす科学技術イノベーションとして期待されている。

長らく研究開発段階にあったトレイグジスタンスは、2007年頃からテレプレゼンスという名称で米国で商品化され始めたが、2016年になって XPRIZE のテーマとして選定され、今年からは ANA AVATAR XPRIZE が正式にローンチされ、世界中から多くのグループが挑戦する開発競争が開始された。

一方、ディズニーマーケティング、KDDI、新日鉄住金ソリューションズと NTT ドコモ、トヨタなどが、臨場感があり作業も可能なトレイグジスタンス開発を行っており、また、TELEXISTENCE INC. などのベンチャーも生まれる中、大分県では社会実装実験もすでに始まるなど、トレイグジスタンスの産業化への道が、着実に拓けだしている。

本 OS では、時空間瞬間移動産業や遠隔就労への挑戦ともいべきトレイグジスタンスの産業化や社会システム化に焦点をあて現状を概観し将来を展望する。

## 2. キーノート

ANA AVATAR XPRIZE による時空間瞬間移動産業への挑戦

ANA ホールディングス 深堀 昂

5G FACTORY におけるトレイグジスタンスの活用

新日鉄住金ソリューションズ 小川哲男

ACCEL「身体性メディア」とトレイグジスタンス社会構想

東京大学 舘 暲

## 3. 総合討論

南澤孝太(慶應義塾大学)と古川正紘(大阪大学)を加えてトレイグジスタンスの産業化とトレイグジスタンス社会実現にむけた今後の取り組みを展望する。